

氏名	久保田 亮	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	公衆衛生学、健康食品学				
学位	博士(保健学)				
学歴	1997年共立薬科大学(現 慶應義塾大学)薬学部、2001年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科				
経歴	2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本電気泳動学会(評議員)、生物試料分析科学会(評議員)、日本オゾン医療・審美学会(常任理事)、日本臨床検査医学会、日本臨床衛生検査技師学会、日本臨床検査自動化学会、日本薬学会など				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	大学主催健康講座の随時尿法を用いた1日食塩摂取量測定と減塩推奨の効果の検討	共著	臨床病理 66(4)、p371-375	荒川恭子, 酒井伸枝, 井原寛子, 久保田亮 , 内山真理, 関美雪, 室橋郁生	2018年4月
2	IgA腎症の早期発見を目的とした尿蛋白電気泳動による解析	共著	生物試料分析 41(3)、p153-161	西澤美穂子, 久保田亮 , 五十嵐徹, 酒井伸枝	2018年7月
3	セルロースアセテート膜電気泳動を用いた蛋白尿の解析	単著	検査と技術 47(2)、p125-130	久保田亮	2019年2月
4	心筋梗塞発症体質と肺炎発症体質患者における脂質異常症例に対しポリアクリルアミドゲルディスク電気泳動法を用いた新病態分類法(改変WHO分類法)による試み.	共著	日本体質医学会雑誌 81(1)、p25-33	久保田亮 , 井上郁夫, 小倉正恒, 小泉智三, 藤井隆, 野田光彦	2019年2月
5	動脈硬化の地域特性評価に頸動脈エコーが有効であった大学主催の健康講座の取り組み	共著	生物試料分析	久保田亮 , 荒川恭子, 井原寛子, 酒井伸枝, 安藤克己, 室橋郁生	in press
(3) 学会発表					
1	Facilitation towards health literacy contribute to frail prevention among community-living older adults: An Interprofessional Work based project	共著	The International Forum on Quality and Safety in Healthcare、Amsterdam	○Zensho M, Sugano K, Kubota R , Fujinawa O	2018年5月
2	Effects of the Frailty Prevention Program to Promote Health Literacy for Elderly Women.	共著	International China Conference On Frailty、Shanghai	○Zensho M, Fujinawa O, Sugano K, Kubota R , Nakamura-Thomas H, Kikumoto T, Toda H, Kohara H, Morikagi Y	2018年9月
3	過酸化水素無添加オゾンジェルのホワイトニング効果および殺菌効果について	共著	日本歯科衛生学会第13回学術大会、福岡市	○伊藤奏, 室岡志歩, 山出果歩, 久保田亮	2018年9月

4	動脈硬化の指標としてのLDL粒子径自動測定とLDL粒子マーカの作成	共著	日本臨床検査自動化学会第50回大会、神戸市	○久保田亮, 齊藤太吾, 池上裕一, 千葉泰世, 松田武英, 柳捷凡, 穂田真澄, 井上郁夫	2018年10月
5	IgA腎症患者における尿中蛋白の解析	共著	第46回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○小山田卓哉, 西澤美穂子, 久保田亮, 酒井伸枝	2018年12月
6	レクチンELISA法を用いたアンチキモトリプシンの糖鎖構造の解析	共著	第46回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○吉長拓実, 久保田亮	2018年12月
7	オゾンジェルを用いたCandida albicansの殺菌効果	共著	第46回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○北本眞子, 佐藤茉莉乃, 伊藤奏, 久保田亮	2018年12月
8	オゾンジェルのpHによる殺菌効果の検討	共著	第46回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○佐藤茉莉乃, 北本眞子, 伊藤奏, 久保田亮	2018年12月
9	セルロースアセテート膜電気泳動法による尿の二峰性アルブミン分画の解析	共著	第46回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○村木耕太郎, 橋場愛優美, 久保田亮	2018年12月
10	尿中アルブミンの低分子化に関する検討	共著	第46回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○橋場愛優美, 村木耕太郎, 久保田亮	2018年12月
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		フレイル予防に資する地域高齢者ヘルスリテラシー促進の様相:IPW支援プロジェクト(研究分担者)		2016年度～2018年度
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	環境保健学・関係法規	2018.10～2019.2	臨床検査技師国家試験問題のうち環境保健学・関係法規分野に関係のある問題を示しながら進めた。教科書には反映されていない最新の法律改正の内容や最新のデータに基づく内容をプリントとして配布し講義演習を行った。		
2	情報科学概論	2018.6～2018.8	臨床検査技師国家試験問題のうち情報科学分野に関係のある問題を示しながら進めた。特に医療分野に用いる情報科学の基礎について講義した。		
3	疾病と健康食品	2018.6～2018.8	11月に実施される健康食品管理士認定試験の認定取得に向けた学生支援を行うとともに、現在の健康食品の状況、健康食品に関する法律、医薬品と健康食品の関わりなど、社会に出て役立つ知識を講義した。		
4	検査管理総論	2018.10～2018.11	検査管理総論のうち、臨床検査技師国家試験に出題される精度管理の部分を担当し講義した。計算問題についてはプリントを配布し演習形式で講義した。		
(2) 演習					
1	検査総合演習Ⅱ	2018.12	これまで学んできた臨床検査の各専門分野のうち、医動物学と公衆衛生学に絞って、まとめと総括を行った。		
(3) 実習					
1	環境衛生検査学実習	2018.4～2018.7	装置・器具の不足を補うためグループ毎にローテーションしながら実習させた。グループ内で必要な装置や器具、試薬を考えさせ、自ら準備をさせた。実験結果はグループで共有して報告させた。		
2	衛生検査学実習	2018.10～2018.12	病院以外での臨床検査技師の仕事である衛生検査について学び、検査センターや衛生検査に関わる施設見学も行い、水・大気・土壌などの検査についても実習した。		

3	IPW実習	2018.8～2018.10	IPW実習科目責任者としてWebClassの設定を行った。また地域担当として学内でのオリエンテーション及び報告会の運営を行った。	
(4) 論文指導				
1	修士論文指導	2018.4～2019.3	指導補助:2名	
2	卒業論文指導	2018.4～2018.12	卒業研究生:5名 5名とも第46回埼玉県医学検査学会で発表させた。1名が埼臨技奨励賞を受賞した。	
(5) その他				
1	非常勤講師対応(医動物学実習、健診検査、医用工学概論)	2018.4～2018.7	非常勤講師が授業を進めやすいようにテキスト作成の補佐、講義の準備、実習事後指導等の補佐を行い、時間割、シラバス等の次年度の打ち合わせを実施した。	
2	臨地実習病院担当	2018.10～2019.3	済生会川口総合病院と国際医療福祉大学三田病院の施設担当として、それぞれ4名と2名の学生を担当し、施設との連絡・調整や学生指導を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	平成30年度埼玉県立大学公開講座	埼玉県立大学	夏休みこども講座～食品添加物の検査をしてみよう!～	2018.8.25
2	平成30年度埼玉県立大学公開講座	埼玉県立大学	市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ	2018.12.1
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	公益社団法人埼玉県臨床検査技師会	臨床検査技師養成校連絡協議会 委員	2018.4～2020.3	
2	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	総合精度管理委員会 委員	2018.7～2020.6	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	入試実施部会			
2	IPW実習科目責任者会			
3	検査専攻内就職担当			
4	検査専攻内入試担当			
5	検査専攻4年学年担任			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	第28回生物試料分析化学会年次学術集会 優秀演題賞	生物試料分析化学会	2018年12月	
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			